

# 宮田守男

## フリーは風 (現場)からの風

「晩秋、カメムシが家に入るときは、冬は大雪」との言い伝えがあるが、家周辺の米の収穫が終わっても、今年カメムシが家に入る

事が例年より大幅に少ない。代わりにヨトウムシがハクサイに大量発生し、他の野菜も害虫被害が例年以上だ。暖冬の影響との声が聞こえ、今年の降雪量が氣がかりになってしまふ。またコロナ禍で手取り給与が大幅に減少、ガソリン価格が高止まりの中でスキーを楽しむ雰囲気で無いのではどの観光事業者の切実な分析だ。

炎い転じて福となる。の言葉がある。失敗が偶然よって思われる大発見や成功につながることがある。コカ・コーラは痛み止めシロップを作ろうとして失敗した結果、生まれたと聞く。またインドを目指した航海者バルトロメウ・ディアスは嵐に巻き込まれ、引き返す途中、アフリカ大陸臺灣峰を発見した。スキー客減少が続く中、発想を大きく展開

### コロナ禍の災いを福にする取組みを期待したい

して、レジャー以外の客層の開拓に着眼点を持つ取組みが展開できないか期待したい。

毎年7月1日時点の基準地価が発表される。今年は白馬村工事で、テlevi番組内

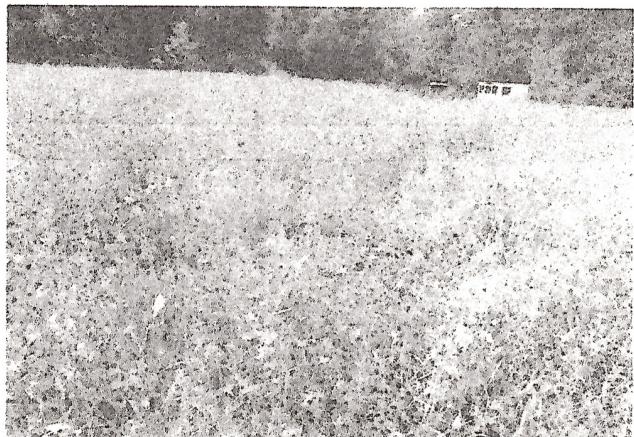
13.5%、全国で9位の上昇地価だ。昨年も同じ商業地で県内最も高い上昇率の30.3%。だが1平方メートル当たり2万7,800円の地価は、軽井沢などの地価に比べて格段に低いことも事実で、テレビ番組内

では有名タレントから「私も白馬の土地賣おうかしら」のコメント。現地を見ないでネットで購入する動きがコロナ禍で高まる中、富裕層にどの様に影響するのか注目して行きたう。

そして資材の価格が、国内のベニア板の高騰だ。特に信州を代表とする樹種「カラマツ」。ヤニが多く、木材してもネジレが出やすいと付加価値の高い利用は一部だけだった

が、国内のベニア板の材料が不足して、長らく日の目を見てこなかつた信州カラマツが困窮しているようだ。

これも「災い転じて福となす」事なのだろうか。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)



ソバ畑を荒らすイノシシ? 被害が多発。周辺農地の荒廃が大きな原因なのだろうか